



まちの魅力“再発見”シリーズ

No.6 「幌延町郷土資料館」

開基120年の節目である平成30年を迎えるにあたり、今月号は幌延のあゆみを学ぶことができる「幌延町郷土資料館」を紹介します。

「幌延町郷土資料館」には、開拓時代に使用した農機具類や、生活用品、幌延町に生息している動物などの資料が展示されています。また、入植した人たちの様子を再現したジオラマもあり、厳しい風雪に耐えながら今日を築いた人々の労苦と創造性を感じ取ることができます。

資料館は幌延町農村環境改善センター（保健センター隣接）の中にありますので、お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



開館時間：午前8時30分～午後5時 入場料：無料
休館日：毎週土・日曜日、祝祭日、年末年始（12/30～1/5）

秘境駅：上幌延駅 ～今月の駅ノート～

今月の「駅ノート」は、かつて幌延の中心であった上幌延駅です。



安牛駅の次に、朽ちていると思われま

UHBで働いています。
いつかこの駅で番
組を作ります
いい感じのくち果
て感・・・最高です。

この駅 M Y

《取材記者・鉄道大好き T》

幌延町の秘境駅観光も、各所でとりあげられることが多くなりました。取組みについては様々な、ご意見をいただいておりますが、観光客の方からは幌延には秘境駅を含め、他には無い魅力が沢山あるね!と絶賛いただくこともあります。多くのお客さまに幌延観光をお楽しみいただけますよう、願ってやみません。

十一月定例俳句会作品

幌延ほおずき俳句会

氷点を又読み返す夜長かな
古傷の疼き始まる氷点下
氷る夜の両の手かける戸の軋み
薄氷に映りし君の笑顔かな
結氷を待ちあぐむ人川の釣り
湿原の沼のいくつや結氷期
今年雪静かに深く友を呼ぶ
(追悼句)

富樫 堅一
横山 貞雄
佐藤 光朗
富樫とも子
熊谷千恵子
田中 徹男
田中 徹男
田中 徹男

ほろのべの裏窓

■新年あけましておめでとござ
います。ついこの間一年が始まった
ばかりだと思っていたのに、気が付
けばもう新年。時の流れは早いもの
です。「初めて」尽くしだった平成
28年からは成長し、少しは余裕が出
てきた平成29年でした。と言いた
いところですが、やっぱり何かとド
タバタな一年でした。

■昨年自分にとって「初めて」だっ
たことといえば、「オトンルイ風力
発電所」や「名山台展望公園」、N
のモニコメント」などガイドブック
の写真でしか見たことがなかった名
所を訪れたことです。実際にその場
に行って目の当たりにしたときは
「おー」と感動したものです。そ
して、最近では雪かきの大変さを身
に染みて感じています。...

■今年には幌延でどんな一年を過ご
せるのでしょうか。雪かきの大変さは
ちよつと置いておいて、これから待
ち受けている一年が楽しみです。

●「広報」の「裏窓」を寄せてください
総務財政課総務グループ
電話 5-11111 告知端末機 5-8811



男 1,213(-3)
女 1,175(+1)
計 2,388(-2)

世帯数 1,257(-1)
(平成29年11月末日現在)
※()内は前月比